

報告事項才

鳥取県学校図書館授業利用状況調査結果について

鳥取県学校図書館授業利用状況調査結果について、別紙のとおり報告します。

平成31年2月7日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

鳥取県学校図書館授業利用状況調査結果（概要）（平成30年6月実施）

図書館

「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」（以下ビジョン）策定の概要

教育課程に寄与する図書館活用教育を一層普及・推進するために、平成32年を目標年として策定。

平成27年度 県立図書館内に学校図書館支援センター開設・ビジョン策定

「学校図書館活用ハンドブック」作成・配布

学校図書館を活用した読書の推進や授業実践の普及をはじめ、学校図書館活用教育に主として関わる司書教諭、学校司書を対象に研修を行い、資質・スキルの向上を図ってきた。

【調査の目的】

ビジョン策定3年目にあたり、学校図書館の授業利用状況を把握し、平成26年度の状況（平成27年度に調査）と比較検討することによりビジョンの効果を検証する。

【調査対象】

全小中学校（小学校125校、中学校57校、義務教育学校においては昨年度の小中学校の状況）、県立高等学校（24校）、特別支援学校（10校、鳥取大学附属特別支援学校を含む。皆生養護学校皆浜分校は平成30年度開校のため、平成29年度の状況について調査をしていない。）

【調査結果の概要】

- ・全校種で、授業で学校図書館資料を活用した時間数の増加
- ・司書教諭や学校司書とのTTを行う学校の増加
- ・年間授業計画の作成について

小学校では96.2%→95.2% 平成26年度と比較して下がっている。

計画を作成しているが、部分的な活用にとどまっている、もしくはあまり活用されていないとの回答もあり。

【今後に向けて】

就学前から高校まで一貫した見通しをもった情報活用能力の育成

- ・年間授業計画の作成と計画に基づく学校図書館の活用を行うこと。
- ・各教科領域等の具体的な学校図書館の活用に関する情報や、計画的に学校図書館を活用するための方法について、研修会等を通して周知していく。
- ・各自治体、各教育研究団体、各学校における研修を推進。
- ・学校図書館活用に関する研修への参加を図書館関係者以外の教職員にも広げ、学校全体で図書館の活用を推進していく。

鳥取県学校図書館授業利用状況調査結果（平成30年6月実施）

図書館

【調査の目的と対象】

この調査は、教育課程に寄与する図書館活用教育を一層普及・推進するため、「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」（以下ビジョン）策定3年目にあたり、学校図書館の授業利用状況を把握しビジョンの効果を検証することを目的として実施し、前回の調査（平成26年度の状況）との比較を行った。

市町村（学校組合）立小中学校（小学校125校、中学校57校、義務教育学校においては昨年度の小中学校の状況）を対象として昨年度の状況を調査した。高等学校、特別支援学校の図書館については、毎年県立図書館が行っている調査における県立高等学校（24校）特別支援学校（10校、鳥取大学附属特別支援学校を含む。皆生養護学校皆浜分校は平成30年度開校のため、平成29年度の状況については調査していない。）の調査結果を用いた。

【全体の傾向】

平成27年度にビジョンを策定し、ハンドブックによる学校図書館活用の普及をはじめ、学校図書館活用教育に主として関わる司書教諭、学校司書を対象に研修を行い、資質・スキルの向上を図ってきた。その結果、全校種で、授業で学校図書館資料を活用した時間数の増加が見られた。また、校種によって差があるものの、司書教諭や学校司書とのTTを行う学校が増えている。

一方で、年間授業計画を作成している学校が、前回の調査より中学校では15.4%、高校では7.2%、特別支援学校では67.5%増加しているものの、小学校では1%減少している。また、計画を作成しているが、部分的な活用であったりあまり活用されていなかったりする学校もある。新学習指導要領にも示されているように、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力など、学習の基盤となる資質・能力を育成するには、学校図書館の機能を各教科の様々な場面で生かしていくことが必要である。そのためには、各学校が年間授業計画を作成し、学校図書館を計画的に利用しその活用を図ることが求められる。

【今後に向けて】

ビジョンに示したように、就学前から高校まで一貫した見通しをもって情報活用能力を身に付けていくためには、年間授業計画の作成と計画に基づく学校図書館の活用が今後の課題である。各教科領域等の具体的な学校図書館の活用に関する情報や、計画的に学校図書館を活用するための方法について、研修会等を通して周知していく必要がある。

また、今後さらに、校長のリーダーシップのもと各学校内での研修を推進したり、学校図書館活用に関する研修への参加を図書館関係者以外にも広げたりするなどし、全教科、全領域において、学校全体で図書館の活用を推進していくことが望まれる。

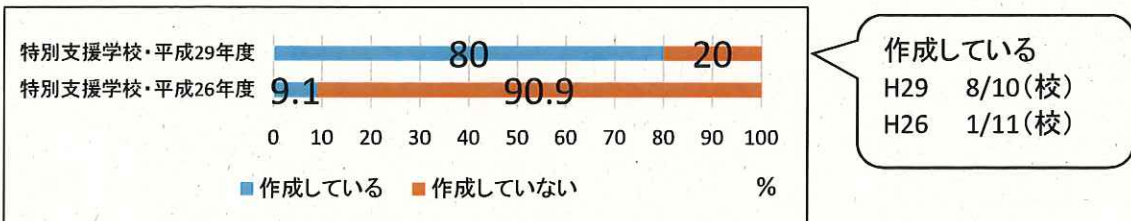
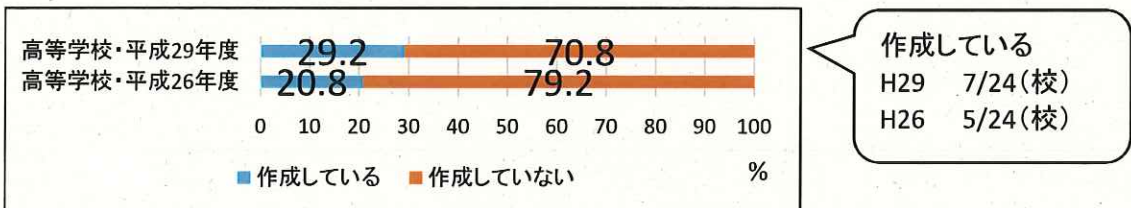
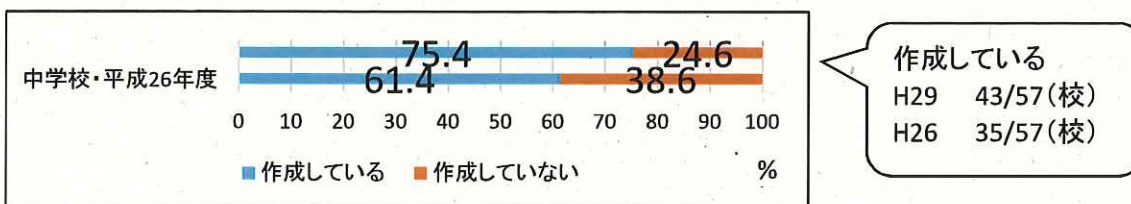
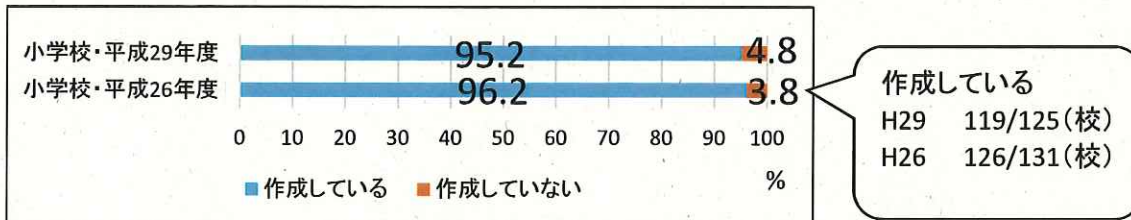
鳥取県学校図書館授業利用状況調査結果(平成30年6月実施)

図書館

1 学校図書館を活用した授業について

1-1(1)-① 学校図書館を活用した年間授業計画を作成していますか。

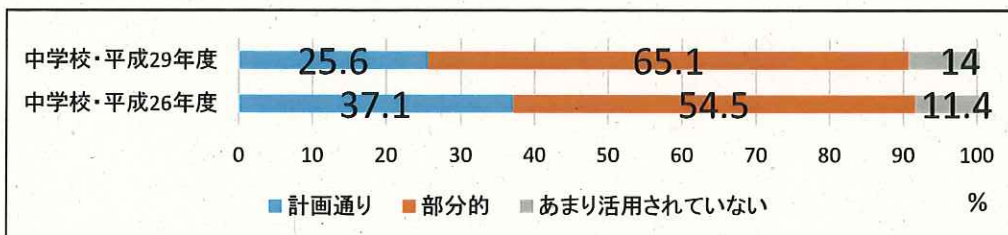
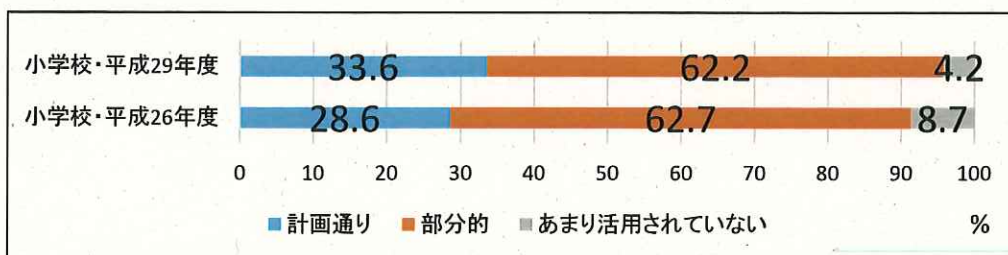
※作成中は、年間授業計画ありにカウントした。



【年間授業計画の作成について】

- ・小学校については、年間授業計画を作成していると回答した学校が前回の調査よりも減少している。作成していないと回答した学校においては、担当者の異動などで、以前に作成した計画の引継ぎがうまく行われていないことが考えられる。
- ・今まで作成されていた計画を見直したところ、授業計画として十分活用できるものではないと学校が判断したため、「なし」と回答した学校もあった。
- ・特別支援学校では作成していると回答が増加しており、計画的な学校図書館の活用が進みつつあると考えられる。

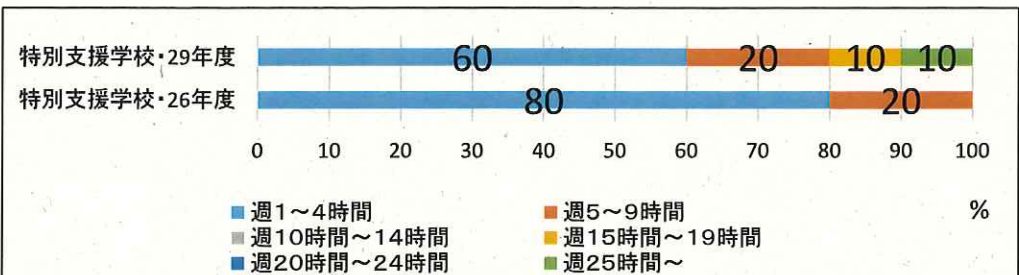
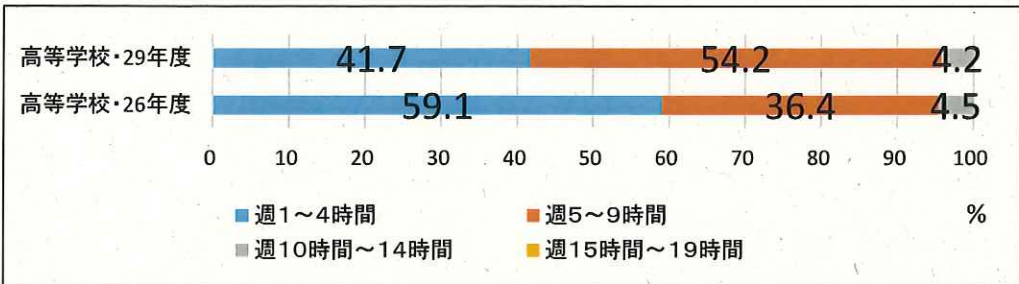
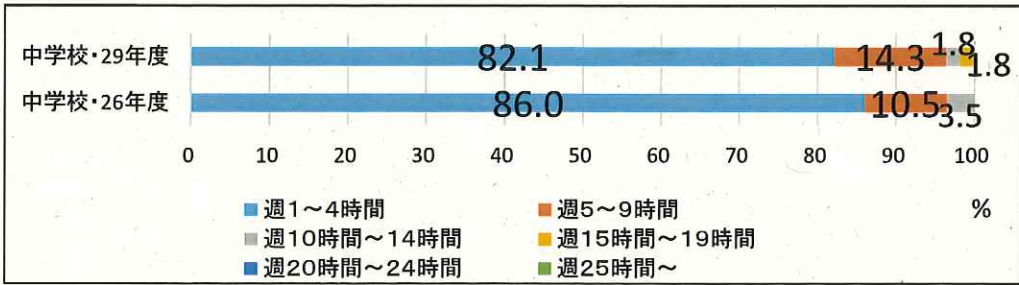
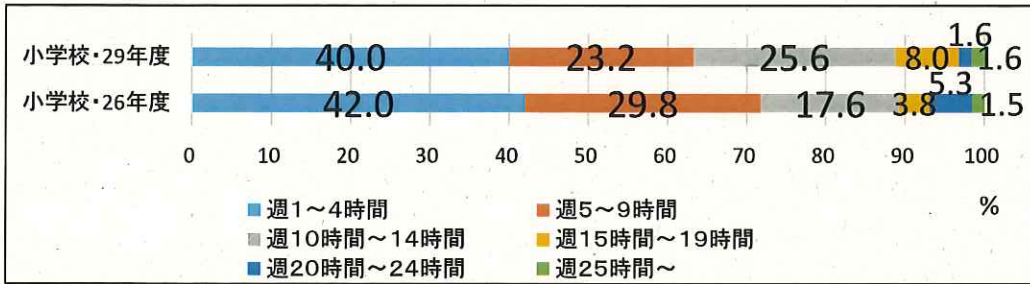
1-(1)-② 学校図書館は授業計画通りに活用されていますか。
 (①の問いに「作成している」と答えた小・中学校が調査対象)



【年間授業計画と学校図書館の活用について】

- ・小学校については、計画通りに活用されているとの回答がやや増えている。年間授業計画を作成することで、実際の活用場面を意識することができ、授業での活用につながったと考えられる。
- ・中学校では計画通りに活用されているとの回答が減少しており、あまり活用されていないとの回答が増えている。
- ・年間授業計画を作成しても、あまり活用されていない実態もある。ビジョンにある身につけさせたい情報活用能力を育成するために、校内における年間授業計画の共有や定期的な見直しが必要であると考えられる。

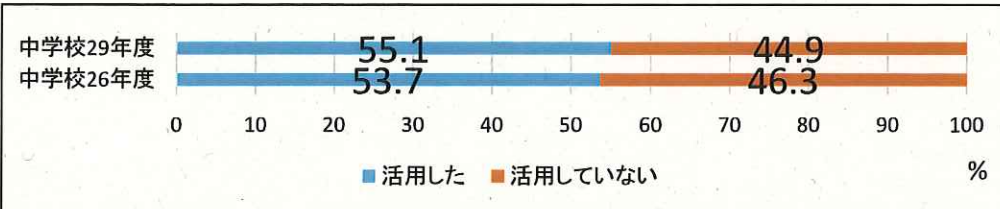
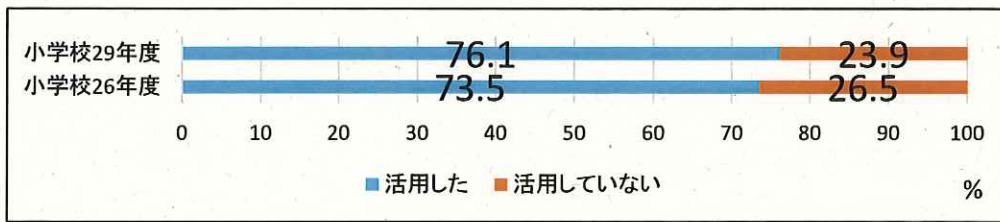
1-(2)-① 授業で学校図書館の資料はどれぐらいの頻度で利用されていますか。



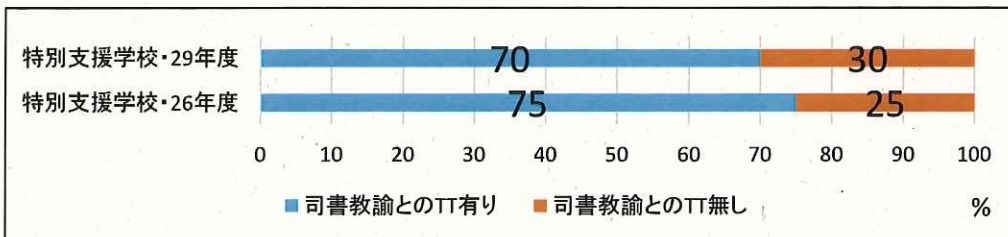
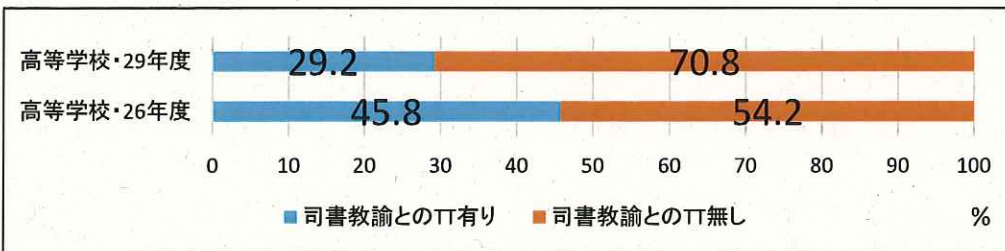
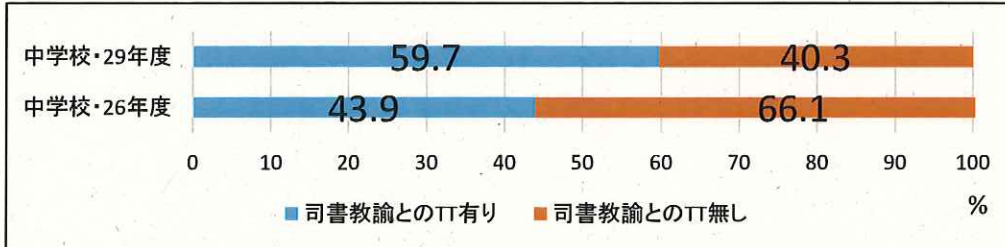
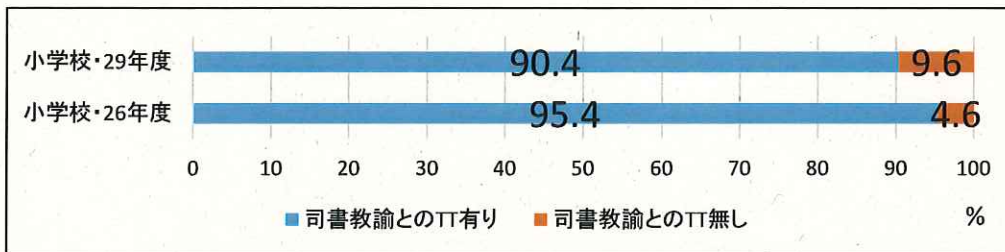
【授業での学校図書館の資料利用について】

- ・小・中学校、高等学校ともに、一週間当たりの利用時間数が増えている。
- ・特に小学校・特別支援学校では、週に10時間以上活用する学校が増えてきた。
- ・すべての校種で授業での図書館資料の活用が進んできている。

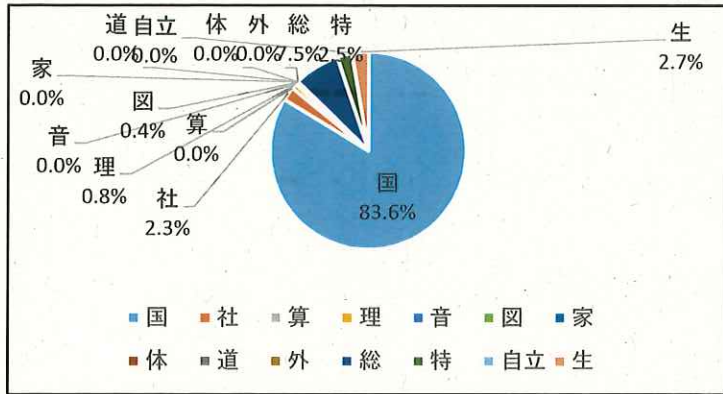
1-(2)-② 平成29年度に図書館資料を活用して授業を行った教員の実人数
 ※全教員数における図書館資料を活用して授業を行った教員の割合を示した。



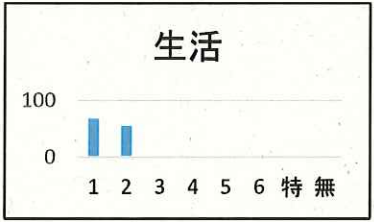
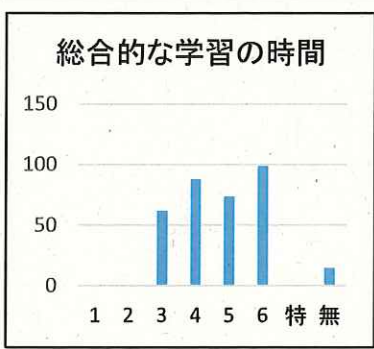
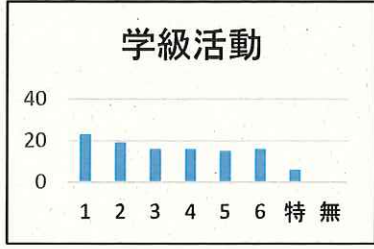
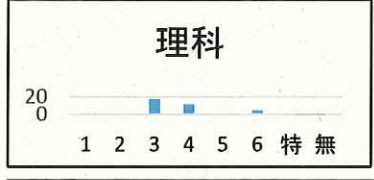
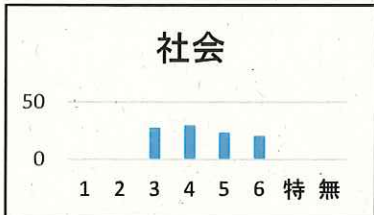
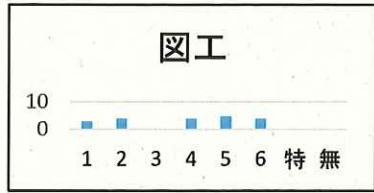
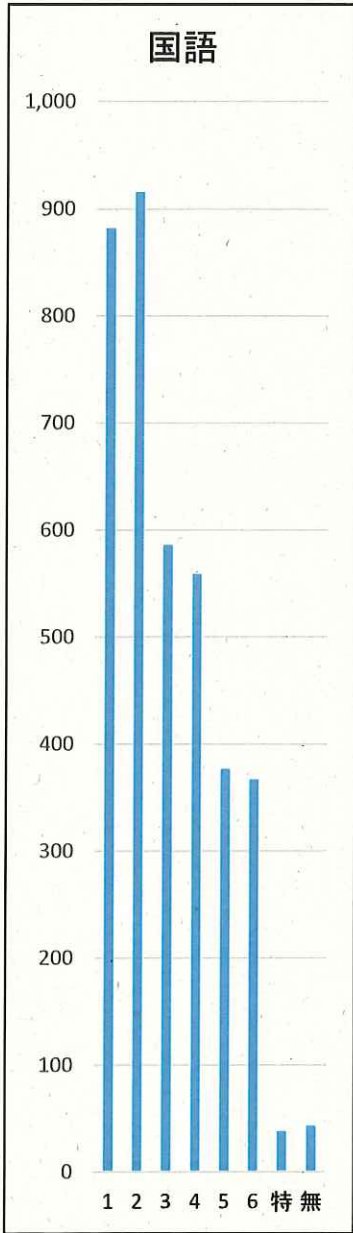
1-(2)-③ 司書教諭による図書館を活用した授業でTTが行われていますか。
 ※「実施している」以外の回答は無しとしてカウント



【小学校】1-(2)-④-イ 司書教諭が実施したTTの授業

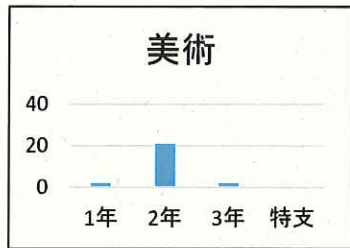
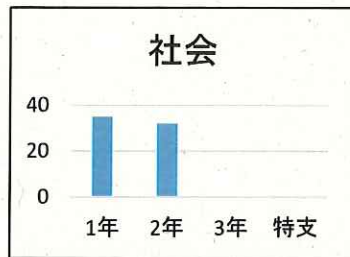
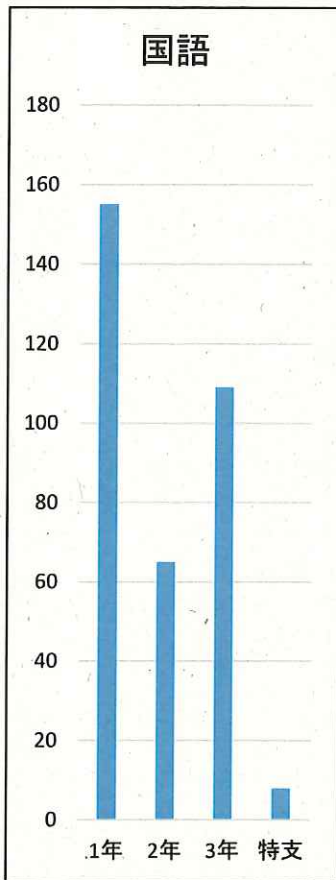
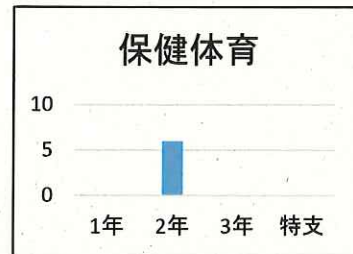
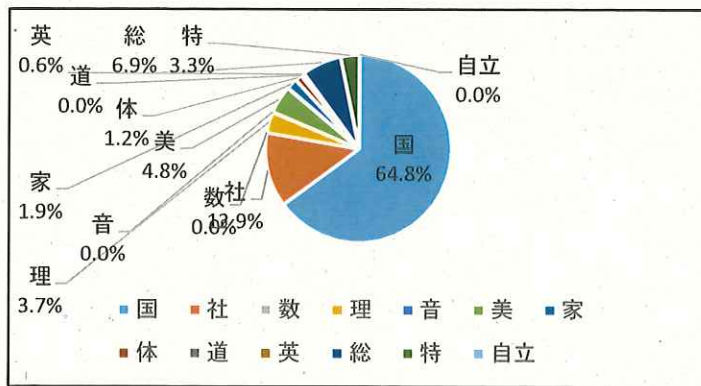


【グラフ内訳】
 縦軸は1単位授業時間を1回と数えた回数
 横軸は学年を表す
 特は特別支援学級
 無は学年無記入

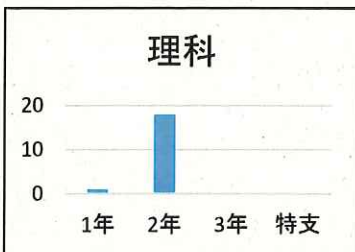
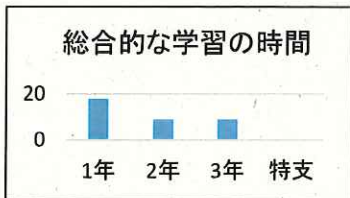


(TTなし)
 算数・音楽・体育

【中学校】1-(2)-④-イ 司書教諭が実施したTTの授業

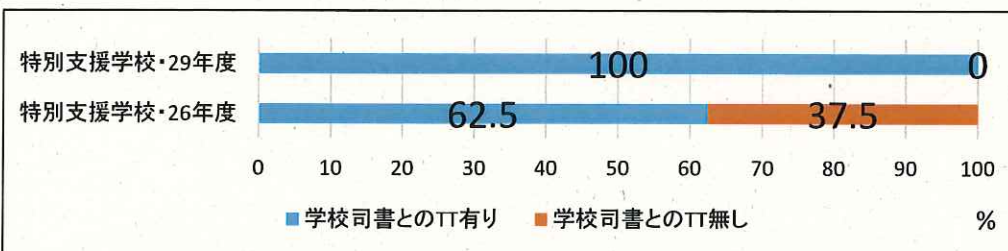
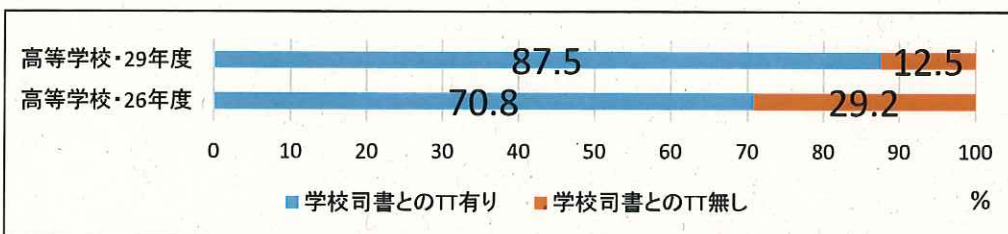
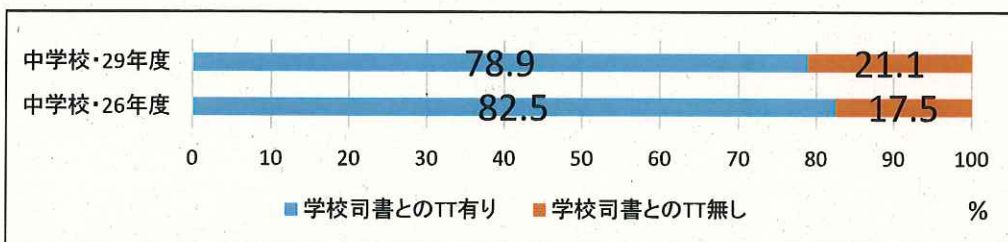
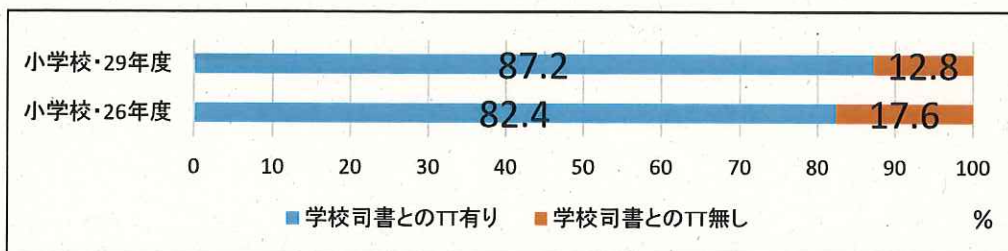


(TTなし)
数学・音楽・道徳
自立活動

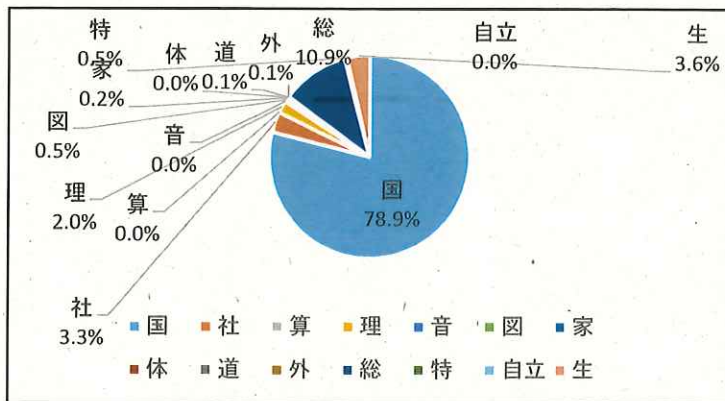


- ・小中学校ともに、国語科と社会科、総合的な学習の時間でのTTが多い。
- ・中学校では、TTを行う教科が司書教諭の担当教科と関係していると考えられる。

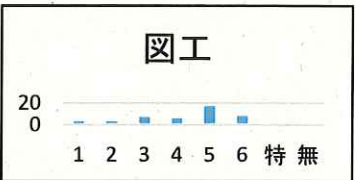
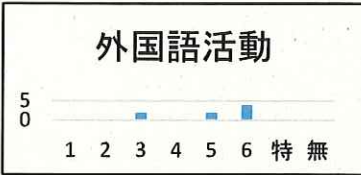
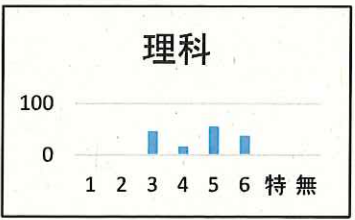
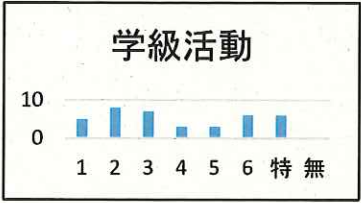
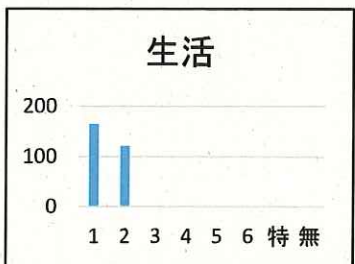
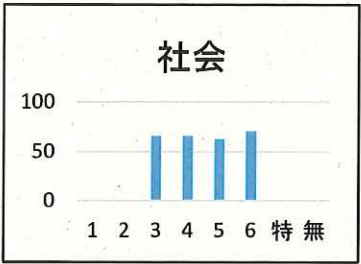
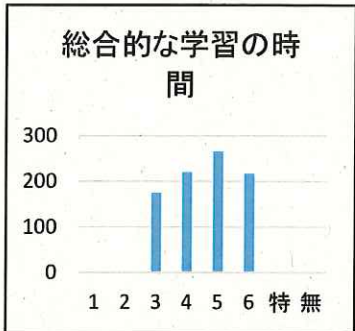
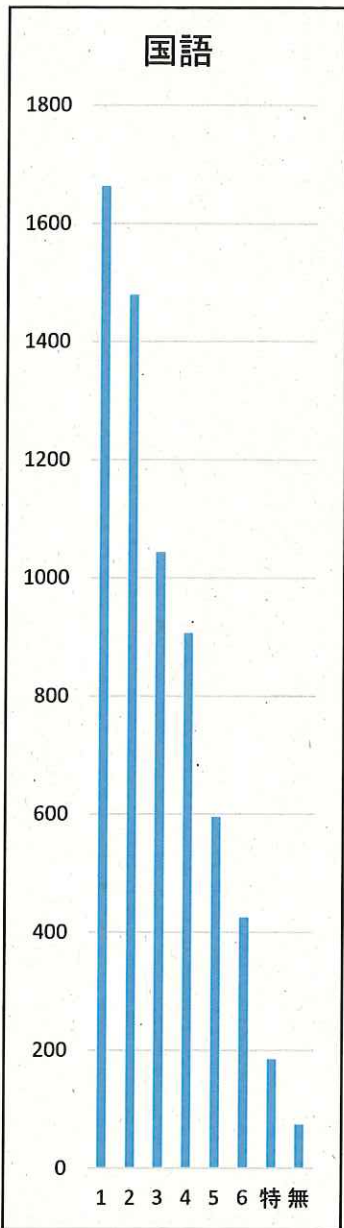
1-(2)-⑤ 図書館を活用した授業で学校司書とのTTを実施していますか。
 ※「実施している」以外の回答は無しとしてカウント



【小学校】1-(2)-⑥-イ 学校司書と司書教諭以外の教員とのTTの授業

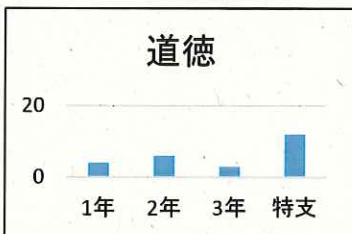
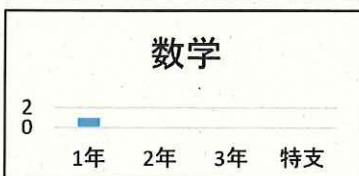
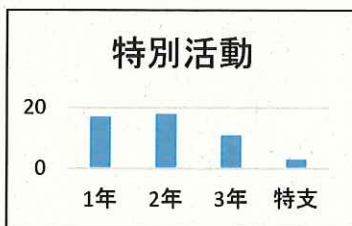
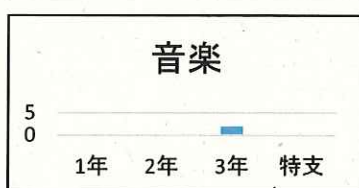
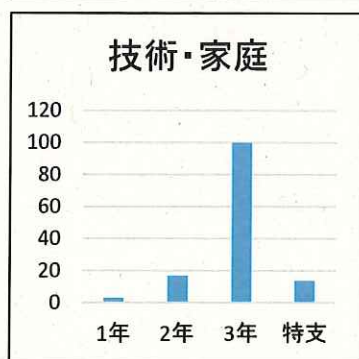
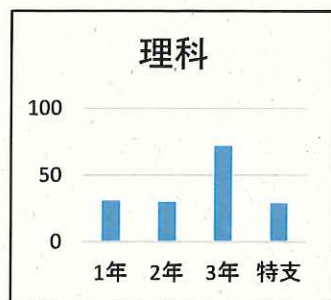
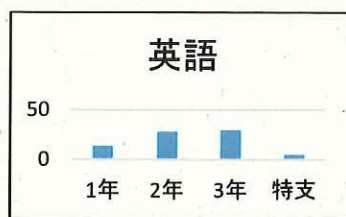
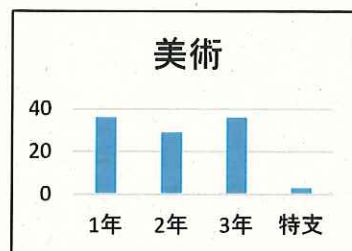
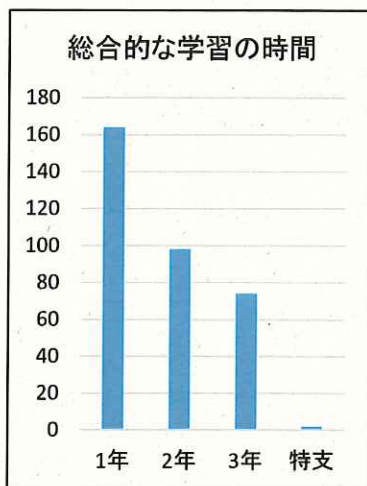
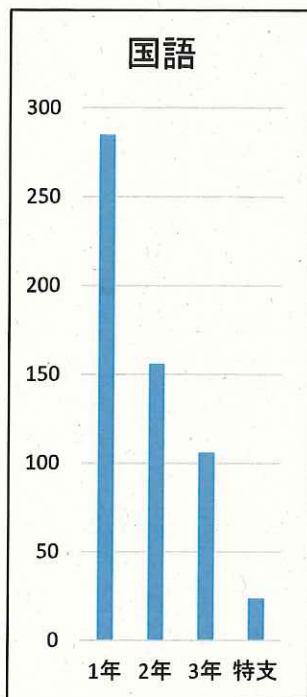
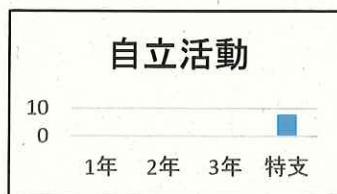
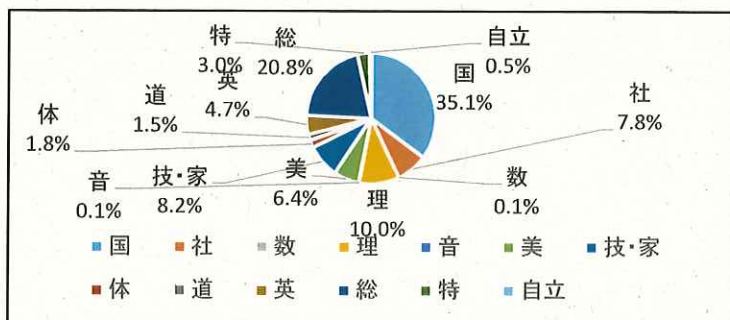


【グラフ内訳】
 縦軸は1単位授業時間を1回と数えた回数
 横軸は学年を表す
 特は特別支援学級
 無は学年無記入



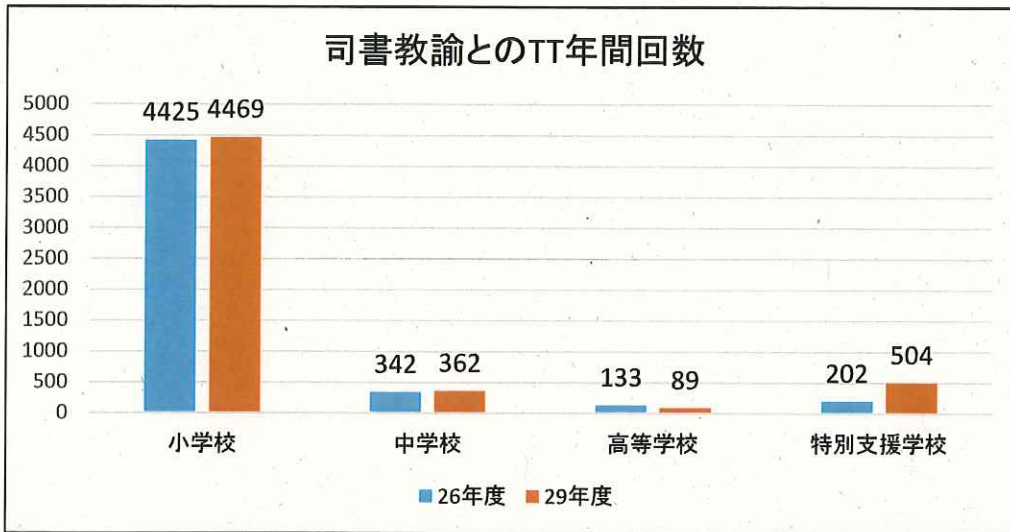
(TTなし)
 体育・算数・音楽

【中学校】1-(2)-⑥-イ 学校司書と司書教諭以外の教員とのTTの授業

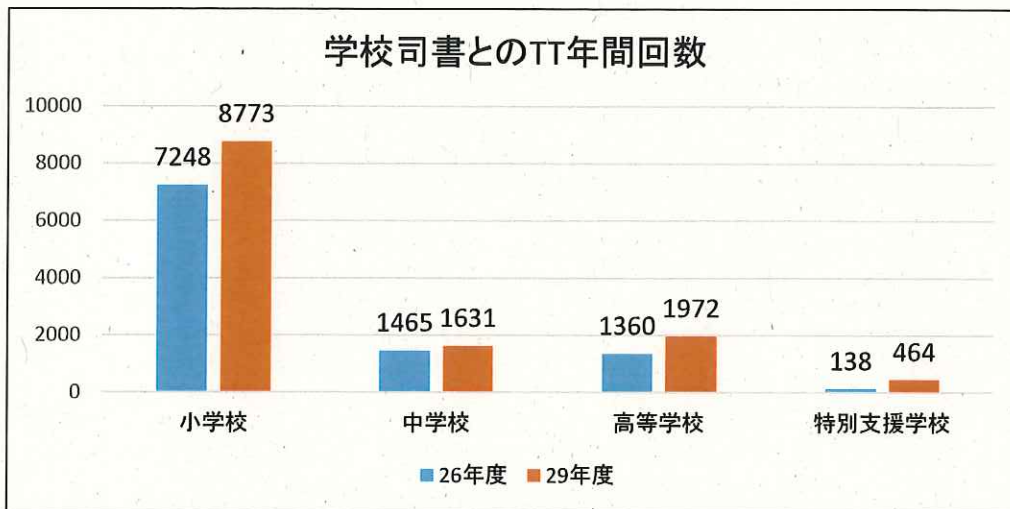


- ・小中学校ともに、国語科でのTTが多いが、小学校では全くTTの行われていない教科がある。
- ・中学校ではすべての教科でTTが行われている。特定の教科に限らず、様々な教員による図書館活用が推察される。

1-(2)-④ 司書教諭・学校司書によるTT年間授業時数



1-(2)-⑥ 司書教諭・学校司書によるTT年間授業回数



司書教諭とのTT年間授業回数(1校当たりの年間平均授業回数)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
平成29年度	35.8	6.4	3.7	50.0
平成26年度	33.8	5.9	5.7	10.9

学校司書と司書教諭以外の教員とのTT年間授業回数(1校当たりの年間平均授業回数)

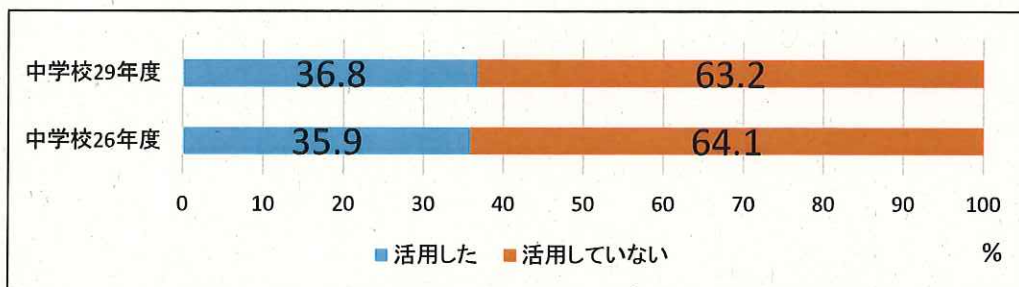
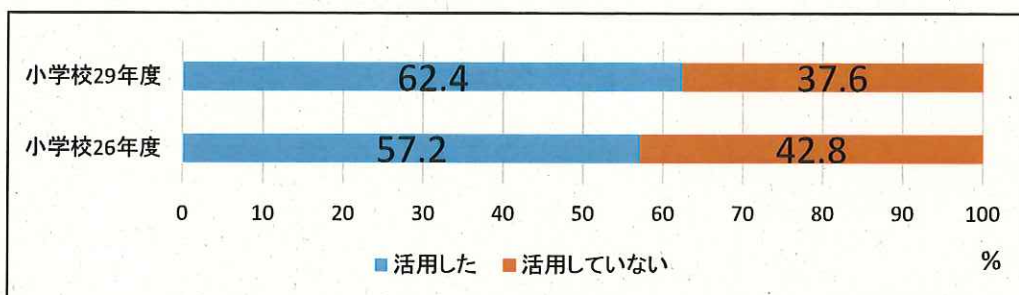
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
平成29年度	70.1	28.6	82.2	46.4
平成26年度	55.3	25.7	56.7	13.8

【司書教諭・学校司書の図書館を活用した授業におけるITの実施について】

司書教諭によるITの実施の割合は、中学校以外の全ての校種で減っている。一方、学校司書によるIT実施の割合は、中学校以外の全ての校種で増えている。特に特別支援学校における学校司書によるITの割合は100%と大幅に増加している。司書教諭の担当学年や教科など各校の事情はあるもの、図書館担当と共働しながら図書館を活用した授業を行ってきていると考えられる。

1-(2)-⑦ 図書館を活用した授業を行った教員の実人数

※全教員数における授業を行った教員の割合を示した。



図書館を使った授業を行った教員の实人数(人)

	小学校 (実人数/全教員数)	中学校 (実人数/全教員数)
平成29年度	1597/2574	542/1482
平成26年度	1491/2607	507/1412

【図書館を使った授業を行った教員の实人数について】

・小学校では前回の調査よりも学校数が減っているものの図書館を使った授業を行った教員の实人数は増加している。中学校でもわずかだが増加している。学校内外の研修などを通して、授業改善の手立ての一つとして、学校図書館を活用していることがうかがえる。

・高等学校、特別支援学校については調査未実施。